

子どもの森づくり通信

J P 子どもの森づくり運動
隔月発行会報
(2025年11月号)

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

〒146-0094 東京都大田区東矢口2-6-14 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081

<https://www.kodomonono-mori.net> mail:info@kodomonono-mori.net

「J P 子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



酷暑から、いきなり初冬のような季節となりました。

季節の変わり目です。体調管理に十分にご留意ください。

「子森通信」の今月号は、恒例の「全国集会＆研修会2026」のご案内です。

年に一度、会員園が集う機会です。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

写真は、紅葉したどんぐりの苗木です。

季節は、さぼらず怠らず、きちんと巡って来ます。見習いたいものです。

(目次)

1. JP子どもの森づくり運動「全国集会＆研修会2026」参加者募集のご案内
2. 【東北復興グリーンウェイブ情報】岩手県大槌町に鎮魂の森が完成
3. リレーエッセイ（2025年11月号）－共にふりかえる「東北復興グリーンウェイブ」（その4）－

日本郵政グループからのお知らせ

日本郵政グループは「J P 子どもの森づくり運動」の支援
のほか、子ども達に向けた様々な取組みを行っています。

【特別協賛】

JP 日本郵政グループ



ぽすくまの動画はこちら

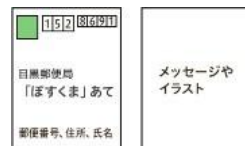


YouTube
ぽすくま【日本郵便】
https://www.youtube.com/channel/UCeio0TZWe2WgapX_NqUUZ9A

ぽすくまと仲間たち
© JAPAN POST Co., Ltd.

ぽすくまと仲間たちは
郵便局のキャラクターです。
ぽすくまは、くまのぬいぐるみの
郵便屋さんです。仲間たちも
みんな手紙が大好きです。

お手紙をくれたみんなに
ぽすくまからお返事が届くよ!



あて先はこちら

〒152-8691
目黒郵便局「ぽすくま」あて

※あて先を記入の際、保護者の方のサポートをお願いします。返信
ご希望の場合は、手紙に住所（建物名・部屋番号まで）・氏名
を忘れずご記載ください。

1. JP子どもの森づくり運動「全国集会＆研修会2026」参加者募集のご案内

毎年恒例のJP子どもの森づくり運動「全国集会＆研修会2026」のご案内です。1日目の「全国集会」では、2026年に18年目を迎える「子どもの森づくり運動」（運動）をふりかえり、あらためて運動の意義と今後の活動展開について考えます。基調講演の講師には、運動の初期から活動を見守っていただいている「新宿せいが子ども園」の藤森平司園長にお願いしました。パネルディスカッションでは、来年度で活動を終える「東北復興グリーンウェイブ」のふりかえりも行いたいと思います。

2日目の「保育防災研修会」では、東日本大震災の際、宮城県「大川小学校」で子どもさんを亡くされた体験をもとに震災の語り部として活動されておられる「Smart Supply Vision」特別講師の佐藤 敏郎さんを講師に迎え、自然災害のリアルについて学びたいと思います。「園庭緑化運動」と「保育防災認定講座」の2025年度活動報告も実施します。年に一度の機会です。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。詳細は、ホームページをご参照ください。

1) 開催概要

1) 開催日 : 2026年2月17日(火)、18日(水)

2) 会 場 : 「大田区産業プラザPIO」特別会議室

東京都大田区南蒲田一丁目20番20号 ※京急蒲田駅より徒歩 3分

3) 主 催 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）

4) 共 催 : 国際校庭園庭連合日本支部

5) 特別協賛 : 日本郵政グループ

6) 協 力 : (公社) 全国私立保育連盟 (公社) 大谷保育協会 (公社) こども環境学会、他

7) 募集対象 : 全国の保育・幼児教育関係者（先着30名）

2) スケジュール（予定）

【2/17(火) 1日目】テーマを深堀りする全国集会

13:00 開会式

13:30 基調講演 1 ～どんぐりの絆をつなぐ意義～

新宿せいが子ども園 園長 藤森 平司先生



藤森 平司先生近影

14:30 基調講演 2 ～東北復興グリーンウェイブによせて～

つつみこども園 園長 芳賀 カナ先生

15:10 パネルディスカッション

16:20 「園庭緑化運動」2025年度活動発表

1) モデル園3園活動発表

2) 2025年度のふりかえり

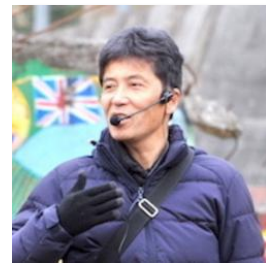
田園調布学園大学大学院 准教授 仙田 考先生

17:30 終了予定 ※終了後、懇親会を開催予定

【2/18(水) 2日目】実践に学ぶ保育防災研修会

10:00 基調講演～3.11を学びに変える～

スマートサプライビジョン特別講師 佐藤 敏郎氏



佐藤 敏郎氏近影

11:15 「保育防災認定講座」2025年度活動発表 1

12:00 【昼食休憩】

13:00 「保育防災認定講座」2025年度活動発表 2

14:30 「保育防災認定講座」2025年度活動総括

(株)タフ・ジャパン 代表 鎌田 修広氏

15:00 「保育防災アクションマイスター」2025年度認証式

3)「全国集会&研修会2026」参加者募集要項

* 参加コースを下記より選択して、「申込みフォーム」にご記入下さい。（金額は税別となります。）

* お支払い方法：請求書を発行させていただきますので、開催前のお振込みをお願いします。

●参加コース、及び参加費

A	両日参加+懇親会	12,600円	B	1日目のみ参加+懇親会	9,600円
C	1日目のみ参加	3,000円	D	2日目のみ参加	3,000円

●申込み方法

* 右のQRコードから「申込フォーム」を読み込み、必要事項をご記入の上
お申し込みください。

* 2026年2月10日(火)を申込み締切日とさせていただきます。

定員になり次第、締め切らせていただきます。

* 詳細は、ホームページをご覧ください。

* その他、ご不明な点は、子森ネットまでお問合せください。



2.【東北復興グリーンウェイブ情報】岩手県大槌町に「鎮魂の森」が完成

「東北復興グリーンウェイブ」の活動拠点である岩手県大槌町に、東日本大震災の犠牲者を追悼し、震災の記憶と教訓を次世代に伝えるための施設として「鎮魂の森」（以下「施設」）が完成しました。2022年8月5日に完成式典が行われ、正式な愛称「あえーる」が発表されました。



完成式典には、大槌町の平野町長をはじめ、様々な関係者が列席しました。大槌町の会員園「つつみこども園」の芳賀理事長や子森ネットの塚原代表も出席しました。

施設の碑には、遺族の同意を得た1272名のお名前が刻まれました。

施設の目的と理念は、以下の四つです。

- 追悼と鎮魂：震災で亡くなった方々への祈りの場
- 憩いと交流：町民が日常的に集える空間
- 教訓の継承：震災の被害と復興を後世に伝える
- 希望の発信：町の未来へのエールを込めた場



※大槌町の苗畑で育っているどんぐりの苗木

施設には、地域の自然と調和をテーマに、郷土樹種の木が植えられる森が造成されます。

来年の5月には、「鎮魂の森」と理念を共有する活動として、「東北復興グリーンウェイブ」で全国から届けられ、大槌で育ったどんぐりの苗木の一部が植え換えられます。

4. リレーエッセイ（2025年11月号）ー共にふりかえる「東北復興グリーンウェイ」(その4)ー

「東北復興グリーンウェイ」の活動をふりかえるリレーエッセイの第4回は、福島県の「伊達こども園」の内藤園長先生と、活動を継続的にご支援いただいております神奈川県川崎市「田園調布学園大学」の仙田 考先生にお願いしました。

➤ 園庭にどんぐりの森を 福島県「認定こども園伊達こども園」 園長 内藤百合子

2017年4月、本園は、福島県伊達市の西地域に開園しました。
早田勝彦前園長は、子どもたちに木登りやどんぐり拾いを思う存分させたいと、築山を「どんぐり山」と名付けました。それには、2011年の東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故後に、除染のために放射線の線量が高い木々が切られたり、子どもたちが森林で遊ぶことができなかったりといった苦しい経験があったからです。

しかし、開園当時は、「こなら」と「かし」の木が数本あるだけ。そんな時、伊達市の「霊山三育認定こども園」の齋藤厚子園長先生が、「東北復興グリーンウェイ」の活動を紹介してくださいました。



2019年植樹活動

そして、2018年から2022年までの5年間、どんぐりの森を目指して植樹を行いました。年長児が中心となって他県から届いた苗木を植え、年少・年中児は、「どんぐりえがお」を他園の子どもたちと一緒に歌い、「どんぐり〜ず」のパフォーマンスを観て、自然について考えました。スコップを持って集まった年長児が、恐る恐る小さな苗木をポットから取り出して、そっと土の上に置く時の真剣な表情や、「大きくなあれ、大きくなあれ。」と呼びかけながら土をかける姿が今も思い出されます。7年前に植えたこならの木は、3メートルぐらいに育ち子どもたちを見守っています。

子どもの森づくり推進ネットワークの皆さん、子どもたちに自然を守り育てる体験をさせてくださり、また、自ら行動することの大切さを教えてくださり本当にありがとうございました。

➤ 「東北復興グリーンウェイ」をふりかえて 「田園調布学園大学子ども教育学部」准教授 仙田 考

子森ネットさんとの出会いは、2019年の春、清水さん（当時代表理事）が「園庭緑化運動」を立ち上げるべく、こども環境学会へお問合せくださり、学会が私へつないでくださったことが始まりでした。「東北復興グリーンウェイ」での被災地支援としての全国協力園とのどんぐり育てとともに、各園でも園庭緑化を進めていきたいとお話を伺いました。



震災後、福島の設計園の園庭環境復興支援プロジェクトや、学会のこども環境調査、園庭環境支援等に携わり、「園庭緑化運動」のお役をメインに、「東北復興グリーンウェイ」にも関わられたらと思っていました。

翌年23年5月の「生物多様性の日」には岩手県大槌町で「東北復興グリーンウェイ」の植樹会に参加させていただいて、学生と育てたどんぐり苗を持参していつの日か植樹会をと思いました。が、その後は夏の暑さとの戦いでした。発芽率もきびしく、発芽してもなかなか暑さを乗り切れなかったのですが、今年秋、ゼミ生と大槌町へどんぐり苗1株（写真）を持参し、子どもたちと現地で植樹をすることができました。

学生たちにとっても、自然とのふれあい・いのちの大切さに触れられる、大変貴重な学びの機会となりました。ご関係のみなさま、機会を頂きまして本当に有難うございました。